

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターアグネス園			
○保護者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 30日 (公開)			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童福祉事業の従事経験年数5年以上の保育士や臨床心理士、理学療法士、言語聴覚士、社会福祉士等、専門性の高い支援者からなる支援体制。	<ul style="list-style-type: none"> ・中核機能として、地域に還元できるようセンターに出来ることを常に考え取り入れるよう努めている。保護者だけでなく、地域の事業所にも合同集会やペアレントトレーニングを公開することで地域全体の発達支援の質の向上を目指している。 ・市が行っていた訪問療育事業などに同行させてもらい、事業引継ぎに向けて準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が経験を積み、より専門性を高めていくためにも「働き続けたい」と感じられるような働きやすい職場環境や遣り甲斐を感じられるような仕組み作りを工夫していく。
2	・総合的で一貫した支援の提供が行える。	<ul style="list-style-type: none"> ・アグネス園、相談室、保育所等訪問支援が一体となり、支援にあたれるよう職員間で連携を取り合い情報の共有に努めている。こども本人だけでなく、保護者の不安や養育の悩みにも対応し、成長段階に応じた継続的な支援を提供、就園や就学へのスムーズな移行支援も心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの導入等、働きやすく業務が効率的に行えるような環境設定に向け着手していく。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、生活に根ざした支援の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活（遊び、食事、排泄、対人関係など）を繰り返し経験できる実践的な支援を工夫している。また随時保護者や家族の参観を受け入れ、園での子どもの様子や子どもと関わる保育士の対応の仕方等を見てもらうことで、家庭での「関わり方」や「環境設定」などを知る機会を積極的に設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延長支援を導入し、いざという時に安全に子どもを預けられる環境を確保することで、保護者やきょうだい児の負担や不安を軽減していく。
---	---	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の人材育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の慢性化により、「育成」よりも「即戦力」に人事採用が偏っている。 ・命、人権、安全を扱う仕事のため失敗が許されにくく業務量と責任の重さ、賃金の低さが離職に直結してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・処遇と評価の明確化と育成に時間を注げる人員の確保に努めていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援センター アグネス園						公表日	R8年 1月 30日
						利用児童数	38名	回収数	30
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	83%	27%	0	0	・活動するには問題ないと思う／部屋数、人員配置などで難しいと思いますが、各教室のスペースがもう少し広いとこども達も安全に過ごせるのかなと思いました／今ある場所をさらに広げるのは難しいと思うので公園活動を増やす等のびのび身体を動かせるようにしてほしい		・アグネス園では、国の定める設定基準に従いスペース確保が行われています。発達支援室は園児1人当たりの床面積2.47m以上。遊戯室は園児1人当たりの床面積1.65m以上となっています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	79%	11%	0	0	・児童4人に対して1人がいますし、心理士、言語聴覚士、理学療法士、看護師がいるので安心です／児童の特性の程度による／他害、パニック、自傷等かかりきりになる児童が多ければ不足ともいえる／基準は満たしていても、活動内容等によっては多い方が先生方のゆとりがもてるのではないかと思います。人数が少ない事での不安は一切ありません／一般的の園より確実に職員の方が多く、手厚いと思いますが初めての園生活なのでよくわかりません		・国の定める人員配置に従い、園児4名に対し保育士1名を配置しています。また専門職の配置も進めていくことで、より充実した支援の提供へと努めています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%	6%	0	10%	・こどもに分かりやすい構造になっていると思う／シンプルでこども達にわかりやすい環境だと思います		・机の置き方等、活動に集中しやすい環境設定を工夫するとともに情報を視覚で提示し視覚的構造化も図っています。また発達支援室だけでなく、玄関やトイレと言った場所もバリアフリー化されています。	

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	6%	0	0	・園全体がきれいで気持ちがよいです、いつもありがとうございます／教室内カードが養生テープで貼りつけてあるのはとても良いと思いますが、何度も貼り直した結果が出ているのは気になりました／出入りがあるので床の砂っぽい感じはありますが、清潔だと思います	・適宜業者も入れながら園内や園周辺の環境整備、清潔に努めてまいります。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	0	0	6%	・こどもに合わせて丁寧に指導していただけています／こどものペースに合わせて都度声掛けしてくださっているのが嬉しいです／大変満足しています	・専門職員の充実を図るとともに、園内外の研修に積極的に参加し、職員全体のスキルアップに努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	6%	0	0	・合っていると感じます	・今後も務めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	97%	3%	0	0	・こちらの思い、考えをしっかりと聞き、どうすべきかを考えて指導していただけています／しっかりと面談時間も取ってもらえて話しやすく、しっかりと作成もしてもらっています	・アグネス園では、クラス間だけでなく、児発管、相談支援専門員、保育所等訪問支援員等とも日々の様子の共有を図っております。 ・対象事例を丁寧に振り返り、個別に検討する事例検討会なども年に3回以上行っております。
適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	6%	0	0	・家族の不安、悩みをしっかりと聞いて改善できるように支援していただけています／安心してお任せできるので引き続きお願ひいたします／親ではうまく言葉に出来ない思いもくみ取っていただき、具体的な言葉にしてもらい内容を作ってもらえて助かっています。	・本人支援・・・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域において、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めることを目標としています。 ・家族支援・・・家族が安心して子育てが出来るよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的、心理的支援を行っていきます。 ・移行支援・・・可能な限り地域の保育、教育等の支援が受けられるようにし、且つ同年代のこどもとの仲間作りを図っていくことを目標としています。

	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97%	0	0	3%	・計画にそって出来なことから丁寧に支援が行われています	・今後も計画に沿った支援を実施していきます。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%	0%	0	6%	・こどもに合った学び、楽しめることも含めて色々なプログラムを考えて取り入れていると思う／毎日違うプログラムで刺激を受けられています	・児童発達支援ガイドラインに沿い活動プログラムが固定されないように、児発管とクラス保育士とがともに立案していきます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	55%	17%	14%	14%	・園庭開放に行った時友だちと楽しく遊んだり、活動に参加できるときは参加しています／コドモンにて発信していただいてます	・県立盲学校の児童による音楽交流会を今年度も実施しました。 ・芸術文化部を中心とした芸術活動でお世話になった画家の原氏より、今年度は地域の美術館での個展にお声がけいただき年長児親子を対象に美術鑑賞会を行いました。また地域交流チャレンジ部からは、地域の幼稚園や保育所の未就学児交流や園庭開放情報の発信も行っています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0	0	0	・あります	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0	0	0	・毎回細かく丁寧に説明があります	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0	0	0	・程よいペースであるので参加しやすく有難いです／勉強になります	
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	100%	0	0	0	・コドモンで1日の様子を丁寧にわかりやすく発信してくださるので有難いです。何かあった時は電話で詳しく話もあります／	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0	0	0	・行われていると思う／モニタリング以外にも個別支援等もあり、園だよりなどもある／とても心強いです	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0	0	0	・支援されていると十分に思います／とても親身になって聞いてもらい、すぐ行動にも移してもらっています	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	83%	10%	0	7%	・支援されていますのでありがとうございます/今年度、保護者同士話す機会は増えて父母会の茶話会でも話しやすい雰囲気になっている/もう少し機会が多くてもいいかもしれません／定期的に交流などがあるので、すごく支援を感じます	・きょうだい児も参観可能なように行事を土曜日に開催。クラス懇談会や年に2回のペアメントトレーニング、保育参観等以外に、アグネス園では保護者が主体となって活動する父母会にて定期的に茶話会等も開かれております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	3%	0	3%	・取り組めることはしっかりと対応していると思います	・苦情等相談窓口があり、利用契約書や重要事項説明書に記載および入園児に説明を行つております。また園内に提示もしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97%	0	0	3%	・発達に合わせて丁寧にされていると思います	・こどもの発達状況や特性に応じた意思の疎通手段としてのコミュニケーション環境を整えていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	94%	6%	0	0	・行事があるたびにコドモン等で発信がある	・自己評価につきましては、こちらのアンケートと同じタイミングで事業所向けアンケートを行っております。 令和6年度からは報酬改定に伴いホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	6%	0	3%	・必要な書類、写真等の扱いがしっかりといる／個人情報の取り扱いは理解していますが写真撮影が出来ないのは親としてさみしく思います。卒園アルバムがないのであれば写真撮影を少し考えていただけるとありがたいかなと思います	・個人の記録などは鍵のかかった書庫にて管理しております。 ・アグネス園ではいつでも参観可能とさせていただきしております、実際に見ていただくことを大切にしております。是非お運びいただき、こども達の日々の姿を見ていただければと思います。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%	6%	0	0	・地震等、災害に備えて月1でしっかりと訓練されています／マニュアルに書いていないことも迅速にお返事いただけて安心できました	・月に1回、地震火災を想定した避難訓練を実施。感染症対策等の職員実施演習やBCP研修なども行っております。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	97%	3%	0	0	・行われている	・1年間の研修計画に組み込み、定期的に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94%	6%	0	0	・行われている/この前の津波警報の時などアブリ上でもよいので一言連絡がほしかった	・危機管理マニュアルを各ご家庭に配布しております。 ・保護者の懸念事項への対応方法は今後もその都度考えてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	97%	3%	0	3%	・すぐに電話があります。ささいなことでも連絡があり、とても丁寧だと感じます/小さなケガでも教えてくれるので助かります／擦り傷一つでも詳しく説明いただけました	・事故(怪我等)が発生した際には、速やかに保護者へ連絡、状況説明および対応についてご説明させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	94%	3%	0	3%	・アグネス園大好き（先生、お友だち）で毎日楽しく通えていますので、安心はとてもあるかと思います／通園バス待ちからワクワクしているので本当に楽しみにしているのが伝わってきます	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87%	0	3%	10%	・毎日楽しみにしています。子どもの様子で楽しく通えていることがとても伝わります／行き渋りはあるが、日々の活動が身に付き家でも実践するので興味をもって過ごせているんだなと感じる／園庭遊びや散歩、外遊びの時間が毎日少しでもあったらいいなと思う／大変満足しています	・アグネス園がこども達にとって安心できる場所であるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	97%	3%	0	0	・成長を感じられ出来ることも増えてきていますので大満足です。感謝の気持ちでいっぱいです／感謝しかないです／預かり、延長があつたらより良いと思います	・今後とも意思決定支援を大切に、お子様とそのご家族に寄り添い、発達支援に向き合つてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター アグネス園					公表日	R 8年 1月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	12%	自由あそび時など椅子を片付けないとせまく、他害がある時など距離を取るのに苦慮する時あり／年長児8名で過ごすと狭いと感じる（法律上では認められているがこどもたちは動くので）／こども8人に職員が2～3名入るとせまく感じる。こどもの距離も近くなりトラブルになりやすい／廊下やホール、隣のクラスと繋げて広くするなど工夫しながら十分なスペースを確保できるよう工夫している／国の基準に沿っている	・国の定める設定基準に従ったスペースの確保が行われています。活動内容等、必要に応じて仕切り扉をなくして発達支援室をつなげたり、遊戯室を利用するなどしています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	12%	決定基準は満たしているが、状況に応じて子どもに個別の対応が必要な時にはもう1名程度配置されると限りの安全性や安心感が増すと思います／子どもが落ち着いているときには適切な配置であると思うが、トイレ、パニック、嘔吐等イレギュラーな出来事に対応するには厳しいこともあります。内線でヘルプを出せばすぐに対応してくれる／1対1での対応が必要な児に対し十分な配置数ではないと感じる／4：1では足りないと感じる／定員に対しては適切であるが、子どもの状態によってはもう少し手厚く見守ることが出来たらと思うことはある／子ども4大人1で国の定める基準を満たしているが、個別サポート加算がついている子どもにはその分の人員をプラスで配置できれば良いのにと思う／子どもの特性やADLの自立度合いによっては足りないと感じることもある。必要に応じて、追加で職員を配置している／4：1の配置を基準とし、今年度は心理士、理学療法士、言語聴覚士、5年以上の実務経験のある保育士を配置し専門的支援も行っている	・国の定める人員配置に従い、園児4名に対して保育士または児童指導員1名を配置しています。職員のスキルアップと専門職の配置も進め、より充実した支援の提供へと努めてまいります。		

3	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	一人一人の特性に合わせて構造化できるよう、日々工夫している／段差のないバリアフリーのトイレの設置／視覚支援、必要に応じてパーテーションの使用、クラス内の刺激の整理など各クラスで特性に合わせた環境設定を進めている／手順や内容が伝わりやすいように必要な写真やイラストで提示し、わかりやすい環境を作っている	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0	季節により虫が多い／療育後に毎日掃除を行っている／子どもが過すスペースに物を必要以上に置かない等配慮している／毎日の清掃は職員みんなで協力して行っている。空調の点検や清掃、園庭や園舎周辺の草刈りや木の選定は業社に依頼している	
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	72%	28%	個別の部屋が空いていない時がある／十分とは言えない／難しい時がある／認められているが人員が足りないと難しい／廊下やホール、スヌーズレンの部屋などクールダウンとして使うことができる。一方保育士の配置の関係で個別対応が出来ない場面もある／個別支援のための部屋やクールダウンをするための場所を必要に応じて活用している	・必要に応じて個別の部屋や場所を利用できるように、毎朝ミーティング時に各部屋の利用状況を共有しています。
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	77%	23%	合同集会など反省を出し合っているが、PDCAサイクルとなると難しい／気づきを共有し、次の支援に向けてどのように取り組むと良いか話す機会をなるべく作っているが非常勤の職員とは十分な時間がとれているとはいえない	・業務改善のための意見箱を設置し、対応しています。今後も職員会議での情報交換、振り返りを継続していきます。
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	94%	6%	毎年保護者による評価で得られた意向を受け止め業務に生かせるよう努めている	・年に1回保護者向け評価表の結果を書面及びホームページにて公表します。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	意見箱（業務改善、虐待防止）が設置されている／業務改善箱が設置されており常勤、だけでなく非常勤職員も意見できる／業務改善について匿名で意見を出せるポストがあり毎月職員会議で取り上げている／小さな気付ちは日常から伝えてもらえるよう関係の構築に努めている／言いにくい内容は業務改善箱に入れてもらい共有し改善につなげている	※項目6と同様
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	94%	6%	昨年度行った、振り返るのにとてもいい機会となつた／昨年度、第三者評価を受け今年度は結果を踏まえた事業展開を目指し平塚市のペアレントメント講習会の講師を務めたり、訪問療育事業にも同行させていただいた	・昨年度第三者評価を実施いたしました。今後も5～6年に一度を目安に継続的に行っていく予定であります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	ローバレ研修を定期的に実施している。ただ日々の業務が多く負担に感じることもある／新人研修、児発管研修、防災や安全運転管理など業務に関わる研修を積極的に進めている。法人研修では人事考課について説明された	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	94%	6%	HPに公開している／アグネス園のHPの情報公開のところに掲載されている	・児童発達支援管理責任者、担任、専門職員で日々の活動プログラムを作成しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	94%	6%	振り返り面談を保護者と行い、評価、次の目標等と一緒に考えている	・計画の際のアセスメントだけでなく、今年度から「ふりかえり面談」として保護者とともに、振り返りと目標に対する評価を行う時間を設けています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	94%	6%	児童発達支援管理責任者だけでなく、担任、相談支援専門員、保育所等訪問支援員とも情報を共有しあい作成にあたっている／子どもの意思決定に重きをおき、個別支援計画の内容を検討している	・アグネス園では児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員、相談支援専門員、保育所等訪問支援員などが計画的に携わっています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	94%	6%	児童ファイルはいつでも見ることができ、質問する職員の雰囲気はある／児発管、担任、専門職、相談支援専門員、併行先の保育所等、保護者の同意を得て情報の共有をし支援内容の共通理解を図っている	・支援にあたる職員全員が、支援計画を周知し支援にあたれるよう業務改善、時間の確保に努めます。

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	標準化ツールを導入すると、支援者も根拠を持って関りを持てたり、行動の変化の記録データとして可視化されて良いと思う／標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントがわからない／入園前のアセスメントや最低でも6か月ごとのモニタリングを通して行うアセスメントにて、適応状況を確認している	・アセスメントツールを用いて、個別支援計画に繋げていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	94%	6%	本人を取り巻く家族や地域の支援も視野に入れ、支援計画を立てている。また本人の将来を見据え、移行支援を行えるよう支援内容を設定している	・児童発達支援ガイドラインにのっとり計画を作成、また計画に沿った支援実施としています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94%	6%	悩んだら相談できる相手がいます／担任を中心に日々の保育や個別支援計画を踏まえながら立案し児発管が必ず確認してから支援実施としている	・毎月ローブレ研修を実施、活動のもち方等をみんなで考え、活動プログラムに取り入れられるよう工夫しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0	意識はしている／他クラスのアイディアを取り入れてみたり、子ども達の様子を見ながら考えるようにしている／ローブレ研修を行い、活動内容について意見交換の場を設けている／週単位、曜日単位で様々な体験が出来るように支援内容を組んでいる／積み重ねが出来るように同じ内容の活動を繰り返しバランスよく取り入れるようにもしている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	専門的支援（児童福祉事業に5年以上従事経験のある保育士、心理、PT、ST）で個別活動を行っている。ただ対象者や回数は限られている／小集団による支援と専門職による個別支援等、個々に合わせて取り入れている	

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	<p>時間に余裕がなく、確認しあえる時とそうでない時がある／必ずではない／もっと時間が欲しい／送迎バスに乗らず時間に余裕がある時には行っている。時間が取れない時には、こどもを受け入れてから自由遊びの時間などに話すようしている／一緒にクラスに入る保育士間で配慮点など共有するよう努めている。出勤時間やバス添乗などで十分な時間が設けられない時もある／バス添乗があると振り返りの時間を十分に確保することは難しい</p>	<p>・業務改善だけでなく、職員採用や育成に努め、情報共有の時間の確保等を行い、よりよい支援を目指していきます。</p>
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	66%	34%	<p>業務時間内では難しいことが多い／業務の都合等によりでその日のうちには出来ずとも翌日や支援前にはコミュニケーションをとっている／必ずではないが気になる点があれば都度共有している／一緒にクラスに入った保育士、一緒にクラスに入る保育士だけでなく必要であれば他保育士とも気付いた点を共有している。ただ勤務時間や他業務の兼ね合いもあり十分でない時もある</p>	<p>※項目20と同様</p>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0	<p>児童票に生活面や活動面について記録している／児童票や保護者との連絡ツール（コドモン）を活用し、支援内容の見直しの際には記録をもとに検証、改善につなげている</p>	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0	<p>半年に1度は必ず行っている／半年に一度、または必要に応じて行っている／いつでも参観や面談可能としており、必要に応じて随時見直しを図っている</p>	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0	<p>担任、児発管、相談担当者、園長、必要時には他職員の意見を取り入れるように工夫している／相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、担任、併行先の保育所職員、幼稚園教諭などが参画している</p>	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	<p>利用者の許可を得たうえで主治医からの直接の見立てや方針を聞けると良い</p>	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0	地域チャレンジ部がある／関係機関連携、保育所等訪問支援の支援を共有している／保護者の希望に応じて関係機関連携にて支援内容や子どもの様子を共有する機会を設けている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0	支援シートの作成を保護者とともにに行っている／就学先の職員が子どもの様子を見にきたり電話で引継ぎも行っている／就学先に支援シートなど書面での引継ぎも行っている	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	72%	18%	子ども部会の事務局として活動している／平塚市自立支援協議会未就学児分科会子ども部会を主催し、平塚市職員や児童発達支援事業所と意見交換をしたり地域課題について話し合い、地域福祉の資質向上に取り組んでいる	・昨年度よりアグネス園は中核機能を担うセンターとして、平塚市障がい者自立支援協議会未就学児分科会子ども部会の運営を行っています。また今年度は市が担ってきたペアレントメンター養成講座の講師を務めたり、訪問療育事業の引継ぎに向けて歩みを進めております。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	77%	23%	先日は難聴体験を行った／くれよんの事例検討や精神科医による研修等、順に参加して職員のスキルアップに努めている	・園内外の研修に参加し、研修参加後は研修内容を職員全体で周知できるよう報告を行っています。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0	子ども部会の事務局として活動している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	33%	67%	平塚盲学校との交流がある／同世代との子どもとの関りがあるとよい刺激になりそう／盲学校生、ボランティア中高生の受け入れ、きょうだい児が参加可能な行事等を行っている／地域の中での活動機会はなかなか得られていない／盲学校の生徒の方が音楽会で来てくれている／地域の園庭開放の情報など定期的に提供している／今年度は今まで以上に交流機会が多く持てた	・平塚盲学校との交流機会を作ったり、地域の保育所等の園庭開放や未就学児交流会の情報などを発信しています。

33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0	コドモンだけでなく必要に応じて電話にてお伝えしている／日々のコドモン／懇談会、面談等／毎日コドモン（電子連絡帳）を介して支援内容を共有している。保育参観、行事の見学、クラス懇談会の機会を設けている。電話での相談も随時受け付けている。給食試食会、親子で遊ぼう会、親子散歩も行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0	年に2回のペアレントトレーニングや保育参観等定期的に取り入れている。また見学、面談は随時受け入れている	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0	入園の際必ず行っている	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0	子どもも同席であることを基本としている／個別支援計画お渡し面談にて支援内容を説明、確認してから同意を得ている	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0	連絡アプリや電話、口頭などいつでも相談を受け入れ、必要に応じて面談や家庭訪問も実施している	
保護者への説明等	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0	きょうだい児の心身の不調を見聞きすることがある。きょうだい児の交流会やその情報の提供があると良い／きょうだい児参加のリトミックセラピーを行ったり、懇談会や給食試食会なども行っている／リトミックセラピーにてきょうだい児の参加を呼びかけた／リトミックセラピーにきょうだい児も参加できる機会を設けた／保護者会を開催し、悩みを分かち合う機会や支えあいの場作りに努めている	
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0	園内に意見箱を設置し、相談ごとや意見受け入れている。個人的な申し入れについては職員間で対応方法を話し合い、最善の対応を心がけている	

41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月園だより、給食だよりなどを発信している／園だより、わんぱくだより、献立、他にもクラスの予定表など配信している／	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0	毎年個人情報の（写真等）取り扱い同意書を提出してもらっている／全園児の写真の取り扱い方法を一覧表にして確認できるようにしている／鍵付きの書庫で管理している	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0	外国籍の保護者には、文章以外に直接お会いしたり通訳を介して伝達している	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	66%	34%	合同集会は保護者や事業所に公開している／行事ではないがボランティアを受け入れている／地域のボランティアグループの受け入れ、見学の受け入れ、他事業所の見学受け入れを実施／盲学校の生徒による音楽交流会を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の参観だけでなく、地域の事業所職員の見学や地域のボランティアや中高生のボランティア等を受け入れ等積極的に行い、開かれた運営のあり方を探っている。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	94%	6%	危機管理マニュアルに集約し、周知するとともに定期的な訓練を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・園のマニュアルに沿って対応及び訓練を実施しています。 ・今年度は不審者侵入を想定し、さすまたを使った防犯訓練を実施。訓練の様子をビデオ撮影し、振り返り等を行いました。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	94%	6%	毎年自然災害の危機にさらされることが増えていることを考慮し、実際に活用できる訓練を心がけている	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP研修に参加し、緊急災害時に実際に活用できる訓練を今後も継続して行っています。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0	看護師が面談やヒアリングをして共有してくれている／発作対応ではクラスにいる時だけでなくバス乗車時や災害時を想定して対応を考えている／入園時アセスメント面談で確認し、対応方法は職員間で共有している	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0	医師の指示書を持って必要に応じて薬の塗布や与薬、除去食の対応を行っている／看護師、管理栄養士、担任、園長、児発管など複数の職員で共有。毎年アレルギー検査を受けていただき医師が記入した指示書を提出してもらっている	
非常時					

等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0	安全計画にのっとった点検や研修、訓練を行うのとどまらず、日常使うものは毎回チェックし安全に支援できるよう努めている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	94%	6%	今後危機管理マニュアルとセットで周知していく	・危機管理マニュアルは入園時に全家庭に配布しております。今後は安全管理もセットで周知してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0	朝礼にて全体周知し、ヒヤリハットは職員全体がみられるようにしている／毎月の職員会議で常勤で共有、また毎朝のミーティングでも共有している／小さな出来事も取り上げ、再発を防ぐための対策を周知している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0	学齢児分科会との共催の虐待防止研修に参加している／虐待防止のため意見箱を設置し無記名で入れることが出来る／外部研修を含め職員に研修の機会を設け全職員が同じ方向性をもって対応できるようにしている／外部研修の共有を含め、職員に研修の機会を設け全職員が同じ考え方で対応できるようにしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0	座位保持椅子に座っている時間を毎日記録している／本人、家族に同意を得たうえで、限られた場面でのみ座位保持椅子を利用している	